

2. 事業の概要と成果	
(1) プロジェクト目標の達成度 (今期事業達成目標)	<p>【プロジェクト目標】対象施設（教員養成学校・現職教員研修施設）にて、学校図書館および学校における読書推進活動を普及する人材を育成する環境が整備される。</p> <p>軍事クーデターにより対象施設が5校から2校に縮小し、対面またはオンラインでの研修を実施できなかったものの、対象校においてはモデル図書館が設置されたこと、学校図書館に係る研修を実施できる教員が合計44人育成されたこと、育成された教員が教員養成学校の生徒へ学校図書館に係る研修を各校1回ずつ実施したこと、これらの研修を受講した教員や生徒らがモデル図書館を見学し実際に学校図書館の活用状況を確認できたことから、対象校にて学校図書館および学校における読書推進活動を普及する人材を育成する環境が整備されたと判断する。</p> <p>【上位目標】整備された環境を活用して、対象施設（教員養成学校・現職教員研修施設）にて学校図書館に関する知識や技術が継続的に伝達されている。</p> <p>対象の教員養成学校1校では全教員44人中34人が本事業の指導者養成研修を受講しているなど、十分な指導者が育成されている。もう1校においても、本事業で提供した研修パッケージを利用して更なる指導者の育成は可能であると学校長からのヒアリングで確認できている。以上から今後の上位目標の達成も期待できる。</p>
(2) 事業内容	<p><u>ア. モデル学校図書館を設置する。</u></p> <p>軍事クーデターの影響により、対象校を5校から2校（ピー教員養成学校附属中学校、レグー教員養成学校附属中学校）へ縮小したものの、2021年11月にモデル図書館設置を行い、同年12月に開館した。教員養成学校附属中学校へ供与した図書・紙芝居は1校当たり975冊であり、日本から159冊（大型絵本4冊、紙芝居5冊含む）、タイから160冊（大型絵本5冊を含む）、ヤンゴンから344冊に加えて自己資金にて312冊を調達し配架した。また、活動イで活用するため、教員養成学校には1校当たり64冊の図書・紙芝居を供与した。内訳は日本から20冊、タイから20冊（大型絵本1冊を含む）、ヤンゴンから20冊、自己資金にて4冊である（活動1）。</p> <p>また、11月に教員養成学校附属中学校の教員を対象に、学校図書館研修の研修パッケージと閲覧用のタブレット1台、データ格納用のUSB2本を各校に配布し、合計10人の教員が受講した。本パッケージはオンラインでの自主学習となるため、通常時の対面研修で使用する教材に加え、受講者の理解を促進するため解説動画も盛り込んだ（活動2）。</p> <p>12月のモデル図書館開館以降に当会からモニタリングを実施し、作成したチェックリストを基に整備状況と活用状況を確認した。モニタリング結果は「(3)達成された成果」にて後述する（活動4）。</p> <p>なお、活動3の贈呈式は、変更承認申請第3号のとおり、教育省関係者との連絡が困難であったことから中止した。</p> <p><u>イ. 学校図書館におけるトレーナーを養成する。</u></p> <p>前フェーズにて当会が作成した学校図書館に関するマニュアル「学校図書館ミニマムパッケージ」を改訂し、教員養成学校附属中学校および教員養成学校へ配布した（活動1）。</p> <p>11月に教員養成学校と教員養成学校附属中学校の教員を対象に、</p>

	<p>学校図書館ミニマムパッケージガイドラインに基づいた研修パッケージを配布し、合計 20 人の教員が受講した。本パッケージはオンラインでの自主学習となるため、通常時の対面研修で使用する教材に加え、受講者の理解を促進するため解説動画も盛り込んだ（活動 2）。</p> <p>また、11 月には教員養成学校のトレーナーを対象に、学校図書館実践版研修パッケージと閲覧用のタブレット 1 台、データ格納用の USB2 本を各校に配布し、教員養成学校のトレーナー（学校長、教授、助手）合計 44 人が受講した（活動 3-1）。</p> <p>なお、活動 3-2, 3-3, 4 は変更承認申請第 3 号のとおり、トレーナーへの研修がオンラインでの自主学習へ変更になったことから、具体的な教員養成学校内での講義実習の計画を立案できなかったこと、また、新型コロナウイルスの感染拡大による長期休校の影響により通常カリキュラムが過密に設定されたことで、通常授業内での講義実習は実施されなかった。一方で、後述のとおり、休日を活用し、教員養成学校内で自主的な講習会が実施されたことを踏まえると、一定の成果が確認できたと言える。</p> <p><u>ウ. 学校図書館に関連するリソース（研修パッケージ、図書リスト等）を集約する。</u></p> <p>関係団体との連絡が困難であったことから、当会にて学校図書館実践版研修パッケージを作成した。本パッケージは活動イ. 3-1 にて配布、活用した（活動 3）。</p> <p>図書リストについても関係団体との連絡が困難であったことから、当会が中心となり市場調査等を実施し作成した。2022 年 1 月に教員養成学校と教員養成学校附属中学校へ合計 5 部配布した（活動 4）。</p> <p>なお、活動 1, 2, 5 は変更承認申請第 3 号のとおり、関係者との連絡が困難であったことから中止した。</p>
(3) 達成された成果	<p><u>【成果 1】対象教員養成学校での学校図書館に関する授業で、モデル学校図書館が活用されている。</u></p> <p>指標 1：設置された学校図書館が、図書館環境チェックリストにて、90%以上を満たしている。（確認方法：モニタリング）</p> <p>> 図書館環境チェックリストにて 1 校は 92%と目標値を達成したが、1 校は 89.3%と達成できなかった。両校とも図書館活動に対する理解度は高く、質の高い活動を実施できていた。しかし、後者の学校は周辺地域の治安悪化もあり、地域住民や保護者への学校図書館の周知や定期イベントの開催が困難であったため、90%を満たさなかった。</p> <p>※指標 2 は変更承認申請第 3 号にて削除した。</p> <p><u>【成果 2】学校図書館実践についての能力を有したトレーナーにより、対象施設において、講義実習が行われている。</u></p> <p>指標 1：学校図書館実践研修受講後の理解度テストにて 70%以上の理解度を得る。（確認方法：理解度テストの結果）</p> <p>> 受講者 44 人の理解度テストの結果、理解度は 67%であった。70%を達成できなかった理由としては、休校明けの授業が過密に設定され受講者が多忙であり、研修受講に十分な時間を割くことができなかったこと、また、疑問や不明点等を確認することが困難であったことが挙げられる。</p> <p><u>【成果 3】集約したリソースが、対象施設のトレーナーによって活用できる状態にある。</u></p>

	<p>指標1：各施設において5人の教員が集約したリソースを受領する。 (確認方法：受領者リスト) >学校図書館実践版研修パッケージを教員養成学校2校へ配布し、44人が受領した。 内訳：ピー教員養成学校34人、レグー教員養成学校10人</p> <p><u>「持続可能な開発目標(SDGs)に該当する目標における成果」</u> 本事業はSDGターゲット4の教育分野において下記の通り、教育の質の向上に貢献した。</p> <p>ターゲット4-1 学校図書館の普及および学校図書館の活動を担う教員を育成することで、将来的に広範囲の学校で質の高い教育を提供することに貢献した。 ターゲット4-2 ミャンマーでは初等教育に幼児教育も含まれること、学校図書館は幼児クラスにも開放されていることから、学校図書館の普及を促進することにより幼児の初等教育の準備に貢献した。 ターゲット4-7 当会が提供する学校図書館研修では、読書や読み聞かせ等の図書館活動を通じて21世紀型スキルを獲得できる旨を教員らに伝えている。研修を受講した教員らが図書館活動を通じて子どもたちの21世紀型スキルの獲得を手助けすることで、子どもたちの生きていく力を養うことに貢献した。</p>
(4) 持続発展性	<p>対象の教員養成学校にモデル図書館の設置とトレーナーの育成を行ったことで、事業終了後も対象教員養成学校ではモデル図書館の活用及び学校図書館に係る研修を学生に行うことができる。なお、事業期間中においては上述のとおり休校明けの多忙さから学校図書館に係る研修の授業内での実施が難しかった。しかし、以下4点からわかるように、教員養成学校における学校図書館への関心やトレーニングの需要は大きく、来学期以降においても学校図書館に係る研修が継続していくことが見込まれている。</p> <p>①ピー教員養成学校において、研修の有効性が認められ、当会へ学校図書館実践版研修の追加実施が要請され、2度にわたり研修を実施した。</p> <p>②教員養成学校において、「学校図書館ミニマムパッケージ研修」がそれぞれの学校で実施された(レグー：2021年12月、ピー：2022年1月)。学校図書館実践版研修を受講した教員養成学校の教授らが講師となり、教員養成学校の生徒ら合計361人(レグー：293人、ピー：68人)が参加した。</p> <p>③学校図書館実践版研修を受講した教員養成学校の教授や、②で学校図書館ミニマムパッケージ研修を受講した教員養成学校の生徒が教員養成学校附属中学校に設置したモデル図書館を見学した。見学者はモデル図書館がどのように運用されているかを確認し、良い点や改善点など活発な議論が見られた。</p> <p>④学校図書館実践版研修を受講した教授らから、研修が有意義であるためミャンマー全土の教員養成学校で本研修を実施すべきだとの意見や、②で学校図書館ミニマムパッケージ研修を受講した生徒らからは、ミャンマー全土の校長が本研修を受講したほうが良いとの意見が聞かれた。</p>